

COP10・100日前イベントの結果概要について

1. 趣旨及び概要

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)及びカルタヘナ議定書第5回締約国会議(MOP5)の100日前イベントとして、国連大学において、「COP10/MOP5カウントダウン100フォーラム」を生物多様性条約市民ネットワーク主催、環境省共催により開催し、COP10等の主要議題に関する一般市民への普及啓発を図るとともに幅広い意見交換を行った。

あわせて、日本に留学している世界各国の大学生を招き議論を行う「コカ・コーラ学生環境サミット ネクスト・ジェネレーション国際集会」を財団法人コカ・コーラ教育・環境財団主催、環境省共催により開催した。

2. 開催内容

(1) 日時：平成22年7月10日(土) 10:00～17:00

(2) 開催場所：国連大学本部

(3) 参加者：約400名

(4) プログラム

● ウ・タント国際会議場

「生物多様性条約と人間のしあわせ—どこまでいのちを愛せるか？」

【午前の部】10:00～12:30

○開会挨拶 武者小路公秀CBD市民ネットワーク顧問

環境省大臣官房審議官 渡邊綱男

○講演1：武内和彦国連大学副学長「豊かさの多様性—保全と開発の新たなる地平へ」

○講演2：古田尚也国際自然保護連合(IUCN)「生物多様性条約の誕生背景とCOP10」

○講演3：日比保史コンサベーション・インターナショナル・ジャパン(CI)

「ホットスポットにおける貧困緩和に向けて—日本の関わりと責任」

○講演4：矢原徹一 九州大学大学院理学研究院教授

「空飛ぶ教授の5つのアクション—私たちにできること」

【午後の部】13:30～17:30

○講演5 草郷孝好 関西大学社会学部教授「多様なつながりとしあわせ循環社会」

○ショートプレゼン グッド・プラクティス

ファシリテーター 駒宮博男CBD市民ネットワーク名古屋事務局

・手塚幸夫夷隅郡市自然を守る会／ちば生物多様性県民会議元代表

「伝統的な谷津の景観と農地・林地の再生から見えてくるもの」

・片桐邦雄天竜川の漁師・猟師／森の名人／料理人

「尊いいのちをいただく—天竜川に生きる一家」

○わかる！COP10/MOP5 市民の声のとどけ方

ファシリテーター 道家哲平 CBD市民ネット東京事務局

- ・ 柏木実 CBD市民ネットワーク国連生物多様性の10年作業部会長
- ・ 呉地正行 CBD市民ネットワーク水田の生物多様性作業部会長
- ・ 浜田恒太朗 CBD市民ネットワークABS作業部会
- ・ 天笠啓祐 CBD市民ネットワークMOP5作業部会長
- ・ 清野聡子 CBD市民ネットワーク沿岸・海洋生物多様性にかかわる作業部会長

○講演6：白山義久 京都大学教授フィールド科学教育研究センター センター長

「いのちのゆりかごー海の不思議を伝える」

○基調講演：ジェフリー・マクニーリー 国際自然保護連合（IUCN）上席科学顧問

「第五生態文化革命ー人と自然の新たなる関係を求めて」

○閉会挨拶 高山進 CBD市民ネットワーク共同代表

●エリザベス・ローズ会議場

「ビジネス&生物多様性（B&B）フォーラム」

【午前の部】10:00～13:00 ビジネス目線で考える、里山そしてまちづくり

司会：藤田香 日経BP 環境経営フォーラム生物多様性プロデューサー

○セッション1

- ・ 自治体事例 中村俊彦千葉県立中央博物館副館長
- ・ 企業事例 高橋一郎大成建設環境本部環境計画部環境計画・アセスメント室長
- ・ 提案1 田中章東京都市大学情報環境学部准教授
- ・ 提案2 大藪政孝さとまる有限責任事業組合(LLP)
- ・ 提案3 後藤文昭住友信託銀行企画部社会活動統括室主任調査役

○セッション2 パネルディスカッション

コメンテーター 林希一郎 名古屋大学エコトピア科学研究所教授

西宮洋 財団法人地球環境戦略研究機関持続性センター上席研究員

【午後の部】14:00～17:00 「生物多様性」を守る粹なライフスタイル

司会：服部徹 CBD市民ネットワークTEEB作業部会長

○セッション1

- ・ 企業事例
- ・ 提案1 上田啓介 雑誌「ソトコト」取締役経営企画室長
- ・ 提案2 エクベリ聡子 One Planet Cafe代表
- ・ 提案3 新納麻理佳 雑誌「25ans」編集者

○セッション2 パネルディスカッション

コメンテーター 石田秀輝 東北大学大学院環境科学研究科教授

矢原徹一 九州大学大学院理学研究院教授